

# 議 事 録

公開・一部公開・非公開			非公開 部 分 理 由		
部長	課長	水道係長	下水道係長	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和4年10月3日（月）
		業務係長	業務係員		記録者所属 上下水道課 業務係
**	**				職・氏名 係長 関 昌徳

会議等の名称	東御市上下水道事業運営審議会	開催日時	令和4年9月30日（金） 午後1時30分～午後2時50分
		場 所	勤労者会館2階大会議室
主催者（事務局）	都市整備部 上下水道課 業務係	司会者	上下水道課長 武田英俊 審議会 会長 田口恒敏
出席者	委員10名 西山福恵、斉藤哲、花岡豊一、堀育夫、関昌子、寺島一利、栗原陽子、阿部貴代枝、田口恒敏、成山喜枝		
	市長 花岡利夫		
	事務局6名 武田英俊、中山尉織、関昌徳、堀茜、酒井詠史、廣瀬優		
欠席者	委員3名 唐沢元生、櫻林美月、小宮山和子		

会議事項	（審議事項）	（配布資料）
	(1) 東御市下水道事業経営戦略の改定について【諮問】	
	（報告事項）	
	(1) 水道事業について	
	(2) 下水道事業について	
	(3) 上下水道事業決算について	別添のとおり
	(4) 上下水道料金等取扱業務委託の次期委託について	
決定事項	下水道事業経営戦略の改定については、審議委員のご意見を踏まえて、修正等を行い、次回開催時に答申をいただくこととする。	
次回への検討事項		
次回開催	令和5年3月3日（金）	

様式第4号（第21条関係）

討議	(発言者名)	(発言内容)
内容及び経過		
1 開会	上下水道課長	出席者状況報告（10名出席、3名欠席うち2名から委任状提出）
	会長職務代理	開会の言葉
2 会長あいさつ	会長	審議案件1件、報告案件4件がある。コロナ禍で限られた時間ではあるが委員の皆さんから積極的にご意見をいただきたい。
3 市長あいさつ	市長	本日は、東御市下水道事業経営戦略の改定についてご審議いただくこととなっています。審議委員の皆様のお立場から、忌憚のないご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。
4 審議事項 (1)東御市下水道事業経営戦略の改定について【諮問】		花岡市長から田口会長へ諮問書を手渡す。
		(市長退出)
	事務局	(【資料1】審議事項の内容について説明)
	委員	下水道が生活に必要な不可欠なものとなり、市内でも広く普及したわけである。普及にあっては行政の努力もあるが、市民の協力、理解があって進んだわけである。経営の視点での計画ではあるが、そういった点について触れるべきではないか。
		資源が不足している中で、広域的に汚泥の肥料化ができないか、今後考えていく必要があるのではないか。
		下水道使用料は県内の水準はどのくらいか。
	事務局	“市民の協力、理解”という部分については、「施策：水洗化人口の向上」の中で追記していくように検討します。
		下水道使用料については、19市の中で13番目となっており、水道料金は5番目、上下水道料金を合わせると9番目となっています。
		肥料化については、市単独で行っています。セメント化と肥料化を行っています。広域化は現在のところ難しいですが、また検討していきたいと思えます。

討議	(発言者名)	(発言内容)
	会長	また下水道の日も制定されているので、その中でも色々とPRをしていてもらいたい。
	委員	企業債の元金が減少してきていることが確認できてほっとしている。今後、市内の施設の老朽化が進行する中で、「施策3：専門的知識を有した人材の育成」、特に技術職は重要になってくるので、この施策を強化していてもらいたい。具体的な強化策は考えているのか。
	事務局	技術職の職員自体の強化も図りたいとは考えているが、近年職員の募集をかけても、募集がないと聞いています。しかしながら、上下水道に関する技術を継承していく必要があるため、現在は包括民間委託の中で、更新に向けても排水設備工事責任技術者など技術継承が可能な方が配置できるように民間活力も考えていきたいと考えています。
	委員	行政改革審議会の中で技術職員が不足しているという話題がでた。広域的な市町村との連携は考えているのか。
	事務局	下水道、水道両方含めての話になりますが、日本水道協会と支援協定を締結していますので、災害等が発生した場合は、近隣からの応援をしていただけるようになっています。静岡の災害でも実際応援体制が組まれています。
	委員	下水道使用料の収入が減っている中で、今後管路も法定耐用年数を迎える中で、投資面も含めてどのような計画、見通しを考えているか。
	事務局	人口減少に伴い、使用料収入は減少傾向にあります。使用料収入の減少する中で、統廃合事業を推進することで、維持管理費を削減できることを見込んでいます。このように支出を軽減することで、一定規模の純利益を確保していきたいと考えています。また、当市については供用開始後30年以上経過し、今後更新が必要となっていることから、それらについてはストック計画などにおいて、計画的かつ平準化した投資を行うことで、持続可能な下水道事業運営を行っていききたいと考えています。また計画値と実績値についてはその都度検証を行い、審議会にも諮っていききたいと考えています。
	委員	民間活力や効率化も大事だが、上下水道についてはいつまでも行政が関わるようにしていてもらいたいと要望する。

様式第4号（第21条関係）

討議	(発言者名)	(発言内容)
	会長	本日、出た意見については事務局で集約してもらう。また更に意見がある場合は、お手元に配られた意見書に書いて、10月14日までに事務局に提出するように委員の皆さんにお願いします。
5 報告事項		(報告事項は一括説明)
(1) 水道事業について	事務局	【資料2】で内容説明
(2) 下水道事業について	事務局	【資料3】で内容説明
(3) 上下水道事業決算について	事務局	【資料4】で内容説明
(4) 上下水道料金当取扱業務委託の次期委託について	事務局	【資料5】で内容説明
		※質疑応答特になし (会長進行終了)
6 その他	事務局	次回会議の開催予定、会議報酬等について説明
7 閉会	会長職務代理	閉会の言葉